工事成績評定の考査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

「総括(主任)監督員]

考査項目	細別	a	b	С	d	e
1 施工体制	① 施工体制一	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	/IX		・変更毎)に速やかに提出している。 剥が一致している。	て指示事項が無い。または指摘事項に対	ナする改善が速やかに(次回)実施された	- 施工体制一般に関して,監督員 が文書による改善指示を行った。
		作業分担の範囲を, 施工体制台制 作業分担の範囲を, 施工体系図(3	該当すれば・・・・・d			
		□ 建設業許可票, 労災保険関係成立 元請が下請の作業成果を検査して 緊急指示, 災害, 事故等が発生し	立票,施工体系図,緊急連絡表などを公 いる。 た場合の対応が速やかである。	衆に見えやすい場所に揚げ施工計画書	及び現場と一致している。	
		□ 工場製作において技術者の配置』 □ 建築,機械設備,電気設備等の工 □ その他 (理由:	なび製作体制が確立されている。 :場製作において,社内検査体制(規格€	直の設定や確認方法等)を整えている。)	該当すれば・・・・・e
		該当項目が 90% 以上 90% 未清 該当項目が 80% 以上 90% 未清 該当項目が 60% 以上 80% 未清 該当項目が 60% 未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	② 町栗壮海老	а	b	С	d	e
	② 配置技術者	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	(現場代理人等)	□ 作業に必要な作業主任者及び専 □ 書面整理, 資料整理が適切に処理	門技術者を選任及び配置している。 型されている。	指示事項が無い。または指摘事項に対す	-る改善が速やかに(次回)実施された。	□ 配置技術者に関して、監督員が 文書による改善指示を行った。
			E事全体を把握し適切に管理している。 場合は,監督員と協議するなどの必要な 及び的確に書面で行っている。	対応を行っている。		該当すれば・・・・d
		■ 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。				
		該当すれば・・・・・e				
		該当項目が 90% 以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				

別紙-1②

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[総括(主任)監督員]

考査項目	細別	а	b	С	d	e
2 施工状況	 施工管理 	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	9 %221.4		景条件を反映したものとなっており速やか	示事項が無い。または指摘事項に対する に提出している。(当初・変更・追加)	改善が速やかに(次回)実施された。	施工管理に関して、監督員が文 書による改善指示を行った。
		物的現場条件の変化に対し適切に 品質に影響が無いように工事材料 日常の出来形管理を,設計図書及 日常の品質管理を,設計図書及 使用材料,機器類の品質証明書及 現場内の整理整頓を日常的に行っ 材料確認を適時書面で的確に行っ 段階確認を適時書面で的確に行っ 建設副産物の再利用等への取り組 工事全般において,排出ガス対策 監督員の指導に対し,真摯に対応	該当すれば・・・・・d 施工管理に関して、監督員から の文書による改善指示に従わな かった。 該当すれば・・・・・e			
		□ その他 (理由: 該当項目が 90% 以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	□ T10 M*TH □ □ T10 M*TH □ T10 M*TH □ □ T10 M*TH □ □ T10 M*TH □ T10 M*TH	a	b	С	d	е
	② 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		□ 工程に与える要因を的確に把握し □ 契約日より30日以内に準備工事に	チェック表のうち,工程管理について指え ,それらを反映した工程表を作成してい ご着手している。(工事開始日の指定があ ごフォローアップを行い,適切に工程を管	る場合は指定日より)	改善が速やかに(次回)実施された。	工程管理に関して、監督員が文 書による改善指示を行った。
		□ 現場条件の変化への対応が迅速 ⁻	であり, 施工の停滞が見られない。			該当すれば・・・・・d
		□ 時間制限や片側交互通行等の各種 工事の進捗を早めるための施工方 履行報告書を提出している。 □ 隣接する他の工事と積極的に工程	工程管理に関して, 監督員から の文書による改善指示に従わな かった。			
		□ 休日の確保を行っている。□ 工期の制約を受ける工事において□ 監督員の指導に対し、真摯に対応□ その他 (理由:	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,)	該当すれば・・・・・e
		該当項目が 90% 以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	j···· b ② 削除項目のある場合 j···· c ③ 評価値(」のうち、評価対象外の評価項目は削除 合は削除後の評価項目数を母数として計) = 該当項目数() だ評価対象項目数が2項目以下の場合はC評	算した比率(%)計算の値で評価する。 東項目数()	

別紙-1③

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[総括(主任)監督員]

考査項目	細別	a	ь	С	d	e
2 施工状況	③ 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		□ 災害防止協議会等を1回/月以上	チェック表のうち、安全対策について指定でいて指定でいる。 :行い、記録・写真が整備されている。 者教育を実施し、記録・写真が整備され	示事項が無い。または指摘事項に対する ている。	改善が速やかに(次回)実施された。	□ 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。
		新規入場者教育の内容に、当該」安全教育及び安全訓練等を半日/過積載防止の取り組みを実施し、仮設工の点検及び管理を、チェック保安施設の設置及び管理を各種を	該当すれば・・・・・d 安全対策に関して、監督員から の文書による改善指示に従わな かった。			
		重機操作の安全を確保している。 使用機械,車両等の点検整備をチ 地下埋設物及び架空線等に関する 作業員休憩所設置等,作業環境の 監督員の指導に対し,真摯に対応	該当すれば・・・・・e			
		である では では では できます できます できます できます できます できます できます できます				
	④ 対外関係	a	b	С	d	e
	④ 刈外資休	適切である [評価対象項目] 監督段階における「施工プロセス」	ほぼ適切である チェック表のうち、対外関係について指え	他の評価に該当しない 示事項が無い。または指摘事項に対する	やや不適切である 改善が速やかに(次回)実施された。	不適切である 対外関係に関して,監督員が文
		□ 地元への事前周知及び事前調整を	整を行い,施工時にトラブルの発生が無 を行い,トラブルの発生が無い。 文等により工事の目的及び内容を、分か			書による改善指示を行った。 該当すれば・・・・・d
			又等により工事の目的及び内容を、分か 工し、児童の通学や家屋への出入りに特			該国 9 XU以・・・・・a
		対外関係に関して、監督員から の文書による改善指示に従わな かった。				
) 守する。 算した比率(%)計算の値で評価する。 象項目数() 価とする。	該当すれば・・・・・e			

別紙-1④

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[総括(主任)監督員]

考査項目	細別	a	a'	b	b'	С	d		е
3 出来形及び	 出来形 	優れいている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っ	っている	劣っている
3 出来ばえ		[評価対象項目] □ 出来形の形状 寸シ	よが設計値(設計図書)を満足	J ている		•	•	Щд	そ
	建築工事 (新築·改修)		とが設計値(設計図書)を満足					値を	で満たしていないため、監督員 て書で指示を行い改善され
	電気設備工事		図書を満足していることが確認					た。	(音 (相小を刊(以音で4)
	(新築・改修)		図書を満足していることが確認 て, 不可視部分を含め出来形	できる。 が写真,施工記録等で的確に	確認できる。			該当	áすれば・・・・・d
		□ 施工計画書に写真管理基準を設定し、適切に管理し、それが書類等で確認できる						,,	
	機械設備工事 (新築·改修)		設定し,出来形管理記録が整 形が良好で,施工の精度が高	備され、それが書類で確認で	きる				そ形の形状又は機能が設計 満たしていないため、検査員
			が、工夫されていることが確認					が値	修補指示を行った。
			の場合, 撤去対象物の範囲等	が確認でき,適切な処分をし	ていることが確認できる。			該当	áすれば・・・・・e
		□ その他 (理由:)		
		該当項目が 80% 以上 該当項目が 70% 以上 該当項目が 60% 以上		② 削除項目のある場合は消③ 評価値() =		て計算した比率(%)計算の値 価対象項目数()	直で評価する。		

別紙-1⑤

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

「総括(主任)監督員]

考査項目 細別 a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び 優れい	ている bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣ってい	る 劣っている
□ 田来はえ ② 品質	の品質証明が適切である。 計画書に定められた品質計画により管理され の品質・形状が適切で良好な施工である。 見部分となる品質が、工事写真、施工記録・ 確認記録書を作成する等、品質管理方法か の品質計画による品質管理記録が整備され	等により確認できる。 3明確で、適切に管理し、それだ ている。 れ、それが書類等で確認できる。 3明確で、適切に管理し、それだ でいる。 ① 当該「評定対象項目」の ② 削除項目のある場合は ③ 評価値() =	が書類等で確認できる。 か。 が書類等で確認できる。 うち、評価対象外の評価項目 訓除後の評価項目数を母数と	して計算した比率(%)計算の値 呼価対象項目数()	「「で評価する。	施工の品質及び形状が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば・・・・・ 施工の品質及び形状が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 該当すれば・・・・・ 該当すれば・・・・・・

別紙-1⑥

考査項目	√m □rl	工 中 寅 佰	1
与重視日	細別	工 夫 事 項 ■準備・後片づけ関係	
		□ 1. 測量・位置出しにおける工夫	
5 創意工夫	 創意工夫 	2. 現地調査方法の工夫	
		3. その他 (理由:)	
		■ 施工関係	
		■ 4. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫	
		こことの加工表記する。日本の出版との成立の表示がの成立に工人及びラッキングに対する情報による状態 こことの加工表記する。日本の出版とは、日本の地工関係の工夫 こことの対象に対象が、日本の地工関係の工夫	
		□ 7. 部材・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫	
		1. 部内・機内等の連携・旅八等を占む旭上方法に上大	
		□ 9. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策, つなぎ等の工夫	
		□ 10. 照明・視界確保等の工夫 □ 11. に世は、に満席、下戸内はなった。 エー・	
		11. 仮排水, 仮道路, 迂回路等の計画施工の工夫	
		12. 運搬車両・施工機械等の工夫	
		13. 支保工,型枠工,足場工及び仮桟橋,覆工板,山留め等の仮設工関係の工夫	
		14. 施工管理及び品質向上等の工夫	
		15. プレハブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫	
		16. 改修工事における仮設施工の工夫	
		17. その他 (理由:)	
		■品質関係	
		18. 集計ソフト等の活用と工夫	
		19. 躯体工事の品質管理の工夫	
		20. 材料の検査試験に関する工夫	
		21. 施工の検査試験に関する工夫	
		22. 品質記録方法の工夫	
		23. その他 (理由:)	
		■安全衛生関係 	
		24. 安全仮設備等の工夫(落下物,墜落,転落,挟まれ,看板,立入禁止,手摺,足場等)	
		25. 安全教育, 技術向上講習会等, 教育・ミーティング, 安全パトロール等に関する工夫	
		26. 現場事務所, 労務者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫	
		27. 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫	
		28. 供用中の道路等の事故防止及び一般交通確保等のための工夫	
		29. 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫	
		30. ゴミの減量化, アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫	
		31. その他 (理由:)	
		■施工監理関係	
		32. 出来形管理に関する工夫	
		33. 施工計画書及び写真管理等の工夫	
		□ 34. 出来形, 品質との計測関係等の工夫及び集計, 管理図等の工夫	
		35. CAD, 施工管理ソフト, 度量管理システム等の活用	
		36. その他 (理由:)	

[総括(主任)監督員]

考査項目	細別	工 夫 事 項
		■その他
	記述評価 (レマークを付し たキーワード項目 について評価内 容を詳細記述)	「神彦工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載 ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+6点~0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 ・1項目1点を目安とするが、内によってはそれ以上の点数を与えても良い。

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1点で評価し、該当する数と重みを勘案して、最大6点の加点評価とする。 ※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。なお、検査員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

[総括(主任)監督員]

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

考査項目	細別	総合評価方式における価格以外のその他の条件に係る評価内容の担保一覧	
8 法令遵守等	Ⅱ 評価内容の 担保		
		履行状況	
		施工計画の実施手順 (理由: -5 点	
		□ 工期設定の適切性□ (理由:)	
		施工上の課題への対応の適切性 -5 点 (理由:)	
		品質の確認方法, 管理方法の適切性 -5 点 (理由:)	
		主任(監理)技術者の保有する資格 -5 点 (理由:)	
		主任(監理)技術者の保有する専門資格 -5 点 (理由:)	
		主任(監理)技術者の保有する専門資格 -5 点 (理由:)	
		□ 過去の工事成績3件の平均点 (理由: −5 点	
		過去の主任(監理)技術者の同種・同規模工事の施工経験の有無 (理由: -5 点	
		施工経験工事の従事役職 (理由: -5 点	
		継続教育(CPD)の取組み(理由:)	
		該当なし	
		本評価項目で評価する事例は、「総合評価方式で発注した工事の施工にあたり、価格以外のその他の条件に係る評価内容に対し、次の適応事例があった」場合に適用する。ただし、請負者の責によらないものを除く。 【上記で評価する場合の適応事例】 「工事の手順が適切であり、工夫が見られる」と評価した工事について、工夫するとした手順で工事を実施しなかった場合 「各工程の工期が適切で、工夫があり、工期短縮が見られる」と評価した工事について、工夫するとした施工計画を実施しなかった場合。または、実施したが工期を短縮できなかった場合 「課題への対応が現地の環境条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる」と評価した工事について、工夫するとした課題への対応を実施しなかった場合「品質の確認方法、管理方法が環境条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる」と評価した工事について、工夫するとした課題への対応を実施しなかった場合「品質の確認方法、管理方法を実施しなかった場合 「主任(監理)技術者の保有する資格、専門資格、過去の工事成績、過去の同種・同規模工事の施工経験、経験工事の従事役職、継続教育(CPD)の取組み等の各評価内容について評価した工事において、評価した配置予定技術者と異なる技術者を配置した場合で、当該技術者の各得点が配置予定技術者の得点を下回る評価内容がある場合	
	評価	評点: — 点 ※ ・総合評価方式における価格以外の条件に関して、請負者の責により、評価の内容が満足されなかった場合、減点評価する。 ・1項目-5点とし、減点の範囲(下限値)は設けない。	